

みやざきだい

10月



令和8年9月18日

「ホットワード、ホットワールド」～新たな言葉で、表現を工夫し続ける子～ 国語でも探究的な活動を求めて…(校内研究:国語へ)

校長 森島 美子

9月に入って、長雨が続きたり警報級の雨が予想され休校になったりと、天候に活動が左右される日々が続いています。その分、比較的過ごしやすい日もありました。街なかでススキが穂を出し、夕方になると虫の音の響きを耳にするなど、秋を感じることもあります。暑さ寒さも彼岸までといったように、秋の訪れに気づくことが増えてくることでしょう。

さて、学校は前期の締めくくりの時期になります。4月からの半年で、子どもたちにはどのような力がついて、さらにつけていくべき力は何なのか。今年度は、校内研究をこれまでの生活科・総合的な学習の時間から国語にシフトし「ホットワード、ホットワールド」～新たな言葉で表現を工夫し続ける子～をテーマに取り組んでいます。昨年度までの研究では、生活科・総合的な学習の時間で主体的に活動に向かう姿がみえてきたこと、そのためには見通しをもたせること、活動の振り返りが大切ということが分かりました。国語に転換したのは、教師と子どもと一緒に学びをつくっていく昨年度までの探究的な学びを生かし、宮崎台の子どもたちの言葉の力をもっと育てたいというところからのスタートです。8月末には教職員と川崎市学習状況調査の結果も参考にしながら、国語の力（算数や生活面も含め）でつけていくべきこと、さらに伸ばしていけること等を含め、各学年検討をしております。それらも基に研究を進めていきます。

学校での様子をお知らせする一つとして、前期末の個人面談も始まっています。短い時間ではありますが、学校生活や学習でお子さんの頑張りや伸びたところなどを中心にお伝えいたします。ご家庭でも、励ましのお言葉と後期に向けた目標などについてお子さんと話題にいただけると、今後の目標についてお子さんが具体的にイメージできると思います。同時に、ご来校の際にご覧になったと思いますが、校内の廊下や壁面には夏休みの作品が展示されています。子どもたちの「？」からスタートしたであろう自由研究や作品を形にするまでの工程には、様々な思考や葛藤があったことと思います。（ご家庭のご協力も多々あったことでしょう）形になるまでの過程を想像しながら一つ一つ作品を拝見しております。

最後になりましたが、前期までの教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。今後も引き続き、ご家庭と連携をとりながら進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。